

平成29年度～令和元年度入学者適用

アドミッションポリシー

日本赤十字豊田看護大学 看護学部は次のような入学者を求めます。

1. 本学の建学の精神に共感できる人
2. 日本語力、英語力、科学的思考力を備えている人
3. 人間や社会に対して広く関心がある人
4. 社会常識を備え責任を持って行動できる人
5. 看護を学ぶ意志を持つ人

カリキュラムポリシー（教育課程の編成・実施に関する方針）

本学のカリキュラムポリシーは、赤十字の理念である「humanity」を基盤として、人間としての尊厳と権利を尊重・擁護できる看護専門職者の育成を目的としています。特に、看護の役割拡大という社会的ニーズに応えるために、プライマリーヘルスケアから高度専門医療にいたるまで、保健医療における諸問題を科学的に分析・考察し、的確に対応できる基礎的能力、看護の基本原則を看護実践に応用できる能力を育み、さらには国内外の保健・医療・福祉の分野において指導性を発揮し、将来、看護教育・研究の発展に貢献できる人材を育成しています。

本学のカリキュラムは、編成の基本となる主要概念を「人間」、「環境」、「健康」、「看護」、「赤十字」として、これらの概念に沿った、「教養科目」、「専門基礎科目」、「専門科目」の科目区分で構成しています。教養科目では、「人間」を理解するための心理学や人間発達論、「環境」を理解するための社会学や文化人類学、科学的な問題解決能力を養う生活科学やコミュニケーション技術を学ぶ語学、少人数制のセミナーによるスタディスキルズセミナー、さらにはボランティア活動論などを取り入れ、人間性、主体性、社会性の育成と看護の対象である人間を統合的に理解するための知識を身につけます。

専門基礎科目では、「人間」・「健康」を理解するための形態機能学や栄養代謝学、疾病・病態学、保健医療福祉などの科目から成り立ち、人間の生命の誕生、健康の維持・増進、人間と環境との相互作用・健康障害などを理解し、看護学を実践するために必要な基礎的知識を学びます。

専門科目では、看護学が中心となっています。1年次に、基礎看護学として看護学の基礎理論や看護技術を学びます。2年次には、成人看護学、老年看護学、母性看護学、小児看護学、精神看護学、公衆衛生看護学、在宅看護論の概論・方法論を学びます。3年次には、各領域別看護学の演習等を中心に学び、後期には各領域における実習を通して理論と実践の統合を学びます。4年次には看護基礎教育の集大成として卒業研究・統合実習を学び、4年間を通して、看護学を形成的に修得します。

「赤十字」の概念と災害看護を学ぶ科目としては、赤十字原論などの必修6科目を含む11科目を専門基礎科目および専門科目として、1年次から4年次までの各学年に置き、赤十字についても形成的に学修できるようになっています。

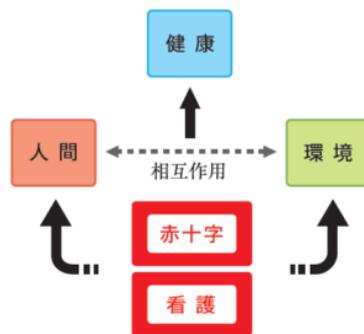
ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与に関する方針：卒業時に期待される能力）

本学の教育理念、教育目的、教育目標を実現することを意図したカリキュラムを編成し、所定の単位を修めた学生は卒業が認定され、学士（看護学）の学位が授与される。卒業までに以下に挙げる能力を身につけていることが求められる。

1. 赤十字の基本原則を理解し、人間としての尊厳と権利を尊重・擁護する専門的立場から行動することができる。
2. 人の生命や生きる営みを支えるために、コミュニケーション技術や生きる力への思いやりの態度を身につける。
3. 人の人間を身体的・精神的・社会的な側面から統合的に理解することができる。
4. 実を把握し、専門的知識、先行研究、経験等を活用してその状況の分析・評価に基づき問題を解決することができる。
5. 康問題に対する人間の反応を把握し、個別的看護を的確かつ安全に実施することができる。
6. 域社会における保健・医療・福祉の分野で看護が担うべき役割を認識し、他の専門職と協働してケアを実施することができる。
7. 己啓発力・自己学習力をもって、生涯学習を自ら求め続けることができる。
8. 際社会における健康ニーズを把握するための基礎的能力をもち、看護の役割を認識できる。

5つの主要概念

カリキュラム編成の基本となる主要概念は、「人間」「環境」「健康」「看護」「赤十字」です。看護の対象である人間は、環境と常に相互作用をしながら生活を営んでおり、自らの健康を保持・増進、回復するためにさまざまな活動を行っています。「看護」「赤十字」はその人にとって望ましい健康状態を生み出すように、人間と環境に働きかける関係にあります。カリキュラムは、この主要概念にそって構成されています。



人間	人間は、生物的・心理的・霊的・社会的側面が統合された存在であり、独自の信念・価値観・尊厳をもって生きています。人間の総合的理解のため、心理学、人間発達論、人体の構造と機能などについて学びます。
環境	環境には、内部環境(生体内環境)と外部環境(自然環境と社会環境)があり、いずれも人間の健康に大きな影響を及ぼします。環境を理解するために、社会学、人間工学、情報科学、疫学などを学びます。
健康	健康とは人間の総合的機能の動的状態であり、安定と不安定、発達や変化を繰り返しています。健康は個別的であり、自ら作るものです。その理解のため、スポーツ健康科学、疾病・治療論などを学びます。
看護	看護は、健康の保持増進、回復、あるいは平和な死に至るよう、人間と環境に働きかけること。対象者との対人関係能力、問題解決のための専門的知識・技術など、看護職に不可欠な能力を養う科目群です。
赤十字	赤十字は人道を基本として、あらゆる状況下で、個人の尊厳と権利を尊重するという価値観を実践しています。赤十字原論、赤十字と活動、赤十字災害看護学などを学んで、その活動の基盤を修得します。

カリキュラム

カリキュラムは5つの主要概念で構成されています。

看護の対象である「人間」は、「環境」と相互に作用しながら、自らの「健康」を保持・増進、回復するためにさまざまな活動を行っています。

「看護」と「赤十字」は、その人にとって望ましい健康状態を生み出せるよう、人間と環境に働きかける関係にあります。

		1年次	
		セメスター①	セメスター②
教養科目	■ 人間	心理学 人間発達論 倫理学 法学・日本国憲法 英語I	教育学 音楽論 英語II スペイン語 ポルトガル語
	■ 環境	生活科学 文化人類学	経済学 日本文化論 人間工学
	■ 健康	スポーツレクリエーション実技	スポーツ健康科学
	初年次教育科目	看護ふれあいセミナー スタディスキルズセミナー	ボランティア活動論
	■ 人間	形態機能学I 免疫学 栄養代謝学	形態機能学II
専門基礎科目	■ 環境	情報基礎	公衆衛生学 社会福祉学 保健情報演習*
	■ 健康	微生物学	疾病・病態学 臨床心理学
	□ 赤十字	赤十字原論	赤十字と活動 赤十字救急法
	□ 基礎看護学	看護学概論 基礎看護技術I 基礎看護技術II	コミュニケーション論 基礎看護技術III 基礎看護学実習I
専門科目	□ 成人看護学		
	□ 老年看護学		
	□ 母性看護学		
	□ 小児看護学		
	□ 精神看護学		
	□ 公衆衛生看護学		
	□ 統合		
	□ 研究		
□ 赤十字			

黒字は必修科目、青字は選択科目、※印は保健師国家試験受験資格取得をめざす人の必修科目

		2年次	
		セメスター③	セメスター④
教養科目	人間	英語Ⅲ 中国語	英語Ⅳ フランス語
	環境	社会学	
	健康		
	初年次教育科目		
専門基礎科目	人間	生命倫理	
	環境	保健医療福祉行政論Ⅰ* 保健統計*	保健医療福祉行政論Ⅱ*
	健康	薬理学 成人・老年疾病・治療論Ⅰ リハビリテーション論 カウンセリング論	成人・老年疾病・治療論Ⅱ 母性疾病・治療論 小児疾病・治療論 精神疾病・治療論
	赤十字	国際救護と英語	
専門科目 看護	<input type="checkbox"/> 基礎看護学	看護過程Ⅰ 基礎看護技術Ⅳ	看護過程Ⅱ ヘルスアセスメント 基礎看護学実習Ⅱ
	<input type="checkbox"/> 成人看護学	成人看護学概論・保健	成人周手術期看護論 成人慢性期看護論 成人看護学方法論Ⅰ
	<input type="checkbox"/> 老年看護学		老年看護学概論・保健
	<input type="checkbox"/> 母性看護学	母性看護学概論・保健	
	<input type="checkbox"/> 小児看護学	小児看護学概論・保健	
	<input type="checkbox"/> 精神看護学		精神看護学概論・保健
	<input type="checkbox"/> 公衆衛生看護学	公衆衛生看護学概論*	健康教育方法論Ⅰ* 健康教育方法論Ⅱ* 産業看護論* 学校看護論* 地域診断論*
	<input type="checkbox"/> 統合		在宅看護論Ⅰ 医療・看護システム論
	<input type="checkbox"/> 研究		
	<input type="checkbox"/> 赤十字	赤十字災害看護学 国際救護看護論	国際救護看護論演習

黒字は必修科目、青字は選択科目、※印は保健師国家試験受験資格取得をめざす人の必修科目

		3年次		4年次	
		セメスター⑤	セメスター⑥	セメスター⑦	セメスター⑧
教養科目	人間	上級英語			
	初年次教育科目				
専門基礎科目	人間				
	環境	情報処理 疫学Ⅰ* 疫学Ⅱ*			
	健康				
	赤十字				
専門科目 看護	<input type="checkbox"/> 基礎看護学	看護倫理学			
	<input type="checkbox"/> 成人看護学	成人機能回復援助論 緩和・ターミナルケア援助論 感染予防看護論 感染予防看護演習 成人看護学方法論Ⅱ	成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 成人看護学実習Ⅲ		
	<input type="checkbox"/> 老年看護学	老年看護学Ⅰ 老年看護学Ⅱ	介護福祉施設実習 医療・老人保健施設実習		
	<input type="checkbox"/> 母性看護学	母性看護学Ⅰ 母性看護学Ⅱ	母性看護学実習		
	<input type="checkbox"/> 小児看護学	小児看護学Ⅰ 小児看護学Ⅱ	小児看護学実習		
	<input type="checkbox"/> 精神看護学	精神看護学Ⅰ 精神看護学Ⅱ	精神看護学実習		
	<input type="checkbox"/> 公衆衛生看護学	保健指導方法論*	家族生活支援論* 地区活動論*	公衆衛生看護学実習* 公衆衛生看護学管理*	
	<input type="checkbox"/> 統合	在宅看護論Ⅱ 家族看護論	在宅看護学実習 医療安全	統合実習 看護管理論	
	<input type="checkbox"/> 研究		看護研究方法	卒業研究	看護活動と研究
	<input type="checkbox"/> 赤十字		国際救護看護論実習 赤十字健康生活支援演習	赤十字幼児安全演習	赤十字災害看護学演習

黒字は必修科目、青字は選択科目、※印は保健師国家試験受験資格取得をめざす人の必修科目

本学では、パソコンのリテラシー教育から、国内
外の保健・医療・福祉に関する情報の収集・実
際の対応に至るまで、幅広い情報活用能力の
育成をめざします。そのために、情報処理室、
LL教室を設けています。

ゼミナール形式の教育を多く取り入れ、教員・
学生との触れ合いの中から多様な価値観を尊
重し、自ら学ぶ姿勢を養います。

臨地実習

看護を必要とする人々と向き合いながら、実践力を身につけます。

看護の学習には臨地実習が不可欠。授業で学んだ知識や技術を療養や生活の場で使いながら身につけていきます。

実習の場では、教科書には載っていないような問題にも遭遇します。

そうした問題と向き合うことで、看護の対象が個性をもった人間であることが実感できるに違いありません。

基礎看護学実習Ⅰ・Ⅱ

セメスター②④ 計3週間

入院患者の療養生活の見学や日常生活援助の実習を通して、看護の役割と機能を理解します。実習Ⅰでは、入院患者の生活環境や援助の実際を見学するとともに、患者とのかかわりを通して入院生活を送る人への理解を深めます。実習Ⅱでは、入院患者を受け持ち、看護実践の基礎を学びます。患者とその家族とのコミュニケーションを通して患者の全体像を把握し、看護の目標設定と計画立案を行ってその実践に取り組みます。

- 実習施設 ・名古屋第一赤十字病院 ・名古屋第二赤十字病院
・刈谷豊田総合病院 ・名古屋掖済会病院 ・豊田厚生病院

成人看護学実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ

セメスター⑥⑦ 各2週間(計6週間)

成人期にある人の病気について理解し、患者とその家族に対して病気の各段階に応じた看護を実践する能力を養成します。実習Ⅰでは、手術室や血液浄化センターにおける医療の実際を見学し、各分野・部門における看護の役割と機能を学びます。実習Ⅱでは、慢性病で入院する患者を受け持ち、その看護実践に取り組みます。実習Ⅲでは、手術を受ける患者を受け持ち、手術前・手術中・手術後の患者に必要な看護への理解を深めます。

- 実習施設 ・名古屋第一赤十字病院 ・名古屋第二赤十字病院
・豊田厚生病院

小児看護学実習

セメスター⑥⑦ 2週間

保育所・小児科外来・病棟での実習を通して、子どもとその家族を理解し、発達段階に応じた看護を実践するための基礎的能力を養います。また、病気や入院生活がその後の発達に及ぼす影響を知り、適切な援助方法を学びます。保育所実習では、子どもの遊びや生活を観察して子ども観を養います。外来実習では、小児科診療の実際を学びながらケアに参加します。病棟実習では、入院する子どもを受け持って看護を実践します。

- 実習施設 ・名古屋第一赤十字病院 ・名古屋第二赤十字病院
・刈谷豊田総合病院 ・豊田市立こども園

精神看護学実習

セメスター⑥⑦ 2週間

精神科病院などでの実習を通して、精神的な健康課題のある人とその家族を理解し、看護を実践する能力を養います。病院実習では、受け持ち患者とのかかわりを通して治療に役立つ人間関係のあり方を学び、患者自身の強みを活かした個別的な看護を実践します。また、精神科デイケアや社会復帰関連施設でも実習を行い、利用者の社会参加を促すプログラムへの参加を通して援助方法を学びます。

- 実習施設 ・刈谷病院 ・共和病院 ・藤田こころケアセンター ・豊田西病院 等

介護福祉施設実習、医療・老人保健施設実習

セメスター⑥⑦ 計4週間

高齢者のケアや看護活動への参加を通して、高齢者の特性とその家族を理解し、高齢者の持つ能力が最大限に発揮されるような看護を行うための基礎的能力を養います。介護福祉施設実習では、高齢者の暮らしの場において必要な看護のあり方を学びます。医療・老人保健施設実習では、病のある高齢者を受け持って看護を実践します。

- 実習施設 ・刈谷豊田総合病院東分院 ・並木病院
・介護老人保健施設ハビリスツボ木 ・みよし市民病院
・刈谷豊田総合病院高浜分院 ・第2とよた苑 ・みなみ福寿園 等

母性看護学実習

セメスター⑥⑦ 2週間

助産所と病院での実習を通して、妊娠・出産の各期にある女性および新生児とその家族を理解し、母子の健康を保持・増進する援助を実践するための基礎的能力を養います。同時に、母子保健活動の実際を知り、育児支援を含む女性の生涯にわたる健康支援について学びます。母子を受け持つ実習では、母子の状態と個別性に応じた看護計画を立案し、援助を実施します。また、助産所と病院それぞれの援助の特徴についても理解します。

- 実習施設 ・名古屋第一赤十字病院 ・名古屋第二赤十字病院
・刈谷豊田総合病院 ・トヨタ記念病院 ・愛知県内の助産所

在宅看護学実習

セメスター⑥⑦ 2週間

訪問看護ステーションでの実習を通して、在宅療養者とその家族を支援するための看護実践力を養います。訪問看護師とともに療養者宅を訪問し、その生活状況に即した看護実践に参加します。また、地域包括支援センターなどで実習を行い、地域における保健・医療・福祉の連携について学びを深めます。

- 実習施設 ・愛知県内の訪問看護ステーション
・地域包括支援センター 等

統合実習

セメスター⑦⑧ 2週間

看護学実習の集大成として自らの興味・関心から実習施設を選択して実習に取り組みます。これまで学習してきた看護の知識・技術を統合して、患者の全体像をとらえた看護を複数の患者に対して実践することにチャレンジします。また、多職種による連携の実際とチームにおける看護の役割を深く理解し、効果的な看護を行うための連携のあり方や看護の専門性について考察を深めます。

- 実習施設 ・中部地方の赤十字病院 ・医療保健福祉施設 等

公衆衛生看護学実習

セメスター⑦⑧ 5週間 ※保健師国家試験受験資格取得をめざす人の必修科目です。

保健所・保健センターや企業の健康管理施設などでの実習を通して、保健師の活動を学び、地域に暮らす人々の健康課題を解決・改善するための基礎的な実践力を養います。保健所・保健センターの実習では、母子・成人・高齢者への健康教育を計画して実施します。企業の実習では、働く人々の作業環境を見学し、健康診断や健康教育などの活動に参加します。

- 実習施設
愛知県内の保健所
市町村保健センター
あいち健康の森健康科学総合センター
企業の健康管理施設 など

国際救援看護論実習

セメスター⑤⑥ 1週間

※選択科目です。

赤十字の国際的な活動に参加できる人材の育成をめざす選択科目です。発展途上国における保健活動や医療支援を現地でも学び、国際救援活動における看護実践力を養います。現地では、赤十字社、JICA事務所、看護大学などを訪問し、活動の見学や支援スタッフとの交流を通してその実際に触れます。

- 実習施設
[訪問国:タイ王国]
・タイ赤十字社
・タイ赤十字看護大学
・タイ赤十字関連施設
[訪問国:ミャンマー]
・ミャンマー赤十字社
・ヤンゴン看護大学
・JICAミャンマー事務所
・JICA Project展開地域 等